



平成 26 年 5 月 9 日

各 位

会 社 名 世紀東急工業株式会社  
代表者名 取締役社長 佐藤俊昭  
(コード番号 1898 東証第 1 部)  
問合せ先 総務人事部長 打越 誠  
T E L 0 3 - 3 4 3 4 - 3 3 4 5

### 剰余金の配当（復配）に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、平成 26 年 3 月 31 日を基準日とする剰余金の配当について、下記のとおり平成 26 年 6 月 27 日開催予定の第 65 回定時株主総会に付議することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

なお、当社では、本日、「中期経営計画の策定および今後の資本政策等に関するお知らせ」、「単元株式数の変更および株式併合ならびに発行可能株式総数の変更に関するお知らせ」および「定款の一部変更に関するお知らせ」を公表いたしておりますので、あわせてご参照ください。

### 記

#### I. 理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題の一つと認識しており、持続的成長に向けた経営基盤の強化を図りつつ、安定的・継続的な配当の実施に努めることを基本方針といたしております。

当社では、平成 11 年 4 月の「経営改善計画」策定以来、建設市場の縮小に対応した事業構造への変革、優先株式の発行を含む資本政策等、抜本的な経営改善策を実施し、本業の収益力向上と財務基盤の強化に取り組んでまいりました。その結果、平成 26 年 3 月期の当期純利益は当初の想定を上回る 37 億 93 百万円を計上するなど収益力向上には一定の成果が見られ、また、有利子負債の減少、自己資本および内部留保の充実など、財務体質についても徐々にではありますが着実に改善が進んでまいりました。

一方、剰余金の配当につきましては、この間も誠に遺憾ながら見送りを余儀なくされてまいりましたが、平成 26 年 3 月期に優先株式の処理が完了したこと、また、収益力と財務基盤の強化が順調に進捗している状況等を総合的に勘案した結果、復配に向けた環境が整ったものと判断し、今般、19 期ぶりに配当を再開する方針を決定いたしました。

なお、平成 26 年 3 月期の期末配当につきましては、1 株当たり 3 円（普通配当 2 円、特別配当 1 円）とし、平成 26 年 6 月 27 日開催予定の第 65 回定時株主総会の決議をもって正式に決定・実施する予定であります。

株主の皆様には長年にわたり多大なるご心配をおかけしてまいりましたが、これまでのご支援に感謝申し上げますとともに、引き続き企業価値向上に邁進してまいりますので、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## II. 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (平成26年1月31日公表)	(ご参考) 前期実績 (平成25年3月期)
基準日	平成26年3月31日	同左	平成25年3月31日
1株当たりの配当金	3円00銭	0円00銭	0円00銭
配当金の総額	605百万円	—	—
効力発生日	平成26年6月30日	—	—
配当原資	利益剰余金	—	—

以 上